Photo News

9/2 全国での活躍に期待!!

「第43回JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会高等学校・中学校47都道府県通信水泳競技大会」に出場する光ヶ丘小学校4年の德永拓也（とくながたくや）さん（9歳）が中川教育長を訪問しました。

德永さんは、「大会ではメダルを獲れるように頑張りたいです。特に背泳ぎが得意なので、いい結果が出せるように頑張ります」と話しました。

9/25 シオン株式会社と「災害時における棺及び葬祭用品の供給等に関する協定」を締結しました

協定の内容は主に、①棺や袋など遺体の収容及び安置に必要な資機材・消耗品及び作業等の役務の提供②遺体を安置する施設として市内斎場の提供③遺体搬送用寝台車及び霊柩車等による遺体搬送の3つです。

9/18 一人ひとりが細心の注意を払いましょう！

『小牧市交通安全緊急アピール宣言』に伴い、交通安全のラッピングをしたトラックやパトカー等による機動広報および市役所前沿道での街頭啓発が行われ、交通安全指導員や市内のボランティアなど約80人が参加しました。

『小牧市交通安全緊急アピール宣言』

小牧市では、本年、9月18日現在、交通事故により7人もの尊い命が失われており、極めて厳しい状況にあります。

市では、小牧警察署、関係団体、ボランティアの方々とともに、市民の皆様を交通事故から守るための取組を一層推進してまいります。

例年、年末にかけて薄暗くなる夕暮れ時は、視認性が低下し、交通事故が多発する傾向があります。そのため、歩行者の方には明るい色の服装と反射材を身に着けていただき、ドライバーの方には早めのライト点灯をお願いします。

市民の皆様におかれましては、悲惨な交通事故を1件でも減らすため、交通安全を身近な問題として捉え、交通ルールの遵守と一層の安全行動を心掛けていただくようお願いし、ここに「小牧市交通安全緊急アピール」を宣言します。

知ってる？在宅医療

在宅医療でできることは？その①

1 在宅医療は、安心して自宅で暮らせるよう、専門職がチームになって対応します。

2 医師や看護師がご自宅等を定期的に訪問します。

※診察や病状観察、検査、点滴や胃ろうなどの栄養管理、在宅酸素や人工呼吸器などの管理を行います。また、がんの終末期などによる痛みや苦痛の緩和などへの対応も可能です。

3 入院や専門的な治療が必要な場合は、病院や専門医と連携しながら対応します。

「在宅医療・介護連携サポートセンター」は、市医師会・小牧第一病院の協力のもと、小牧第一病院内に市が設置する相談窓口です。
詳しくは、地域包括ケア推進課（☎76 - 1188）までお問い合わせください。